

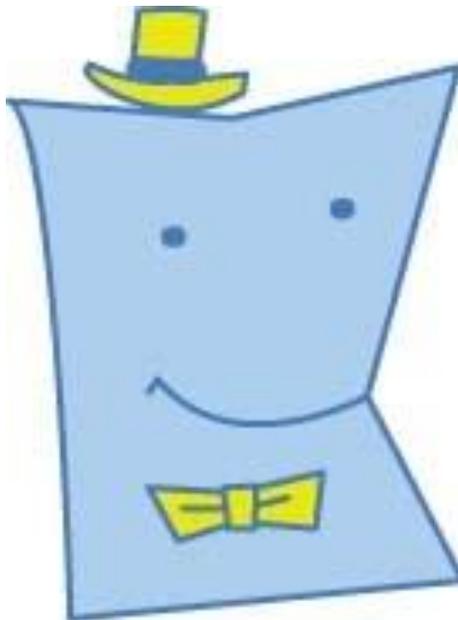
せんしゅう や さい
泉州野菜



* このテキストは^{おおさかべん}大阪弁です

まいどー。

Kくんでーす。¹



¹ こんにちは。
Kくんでーす。

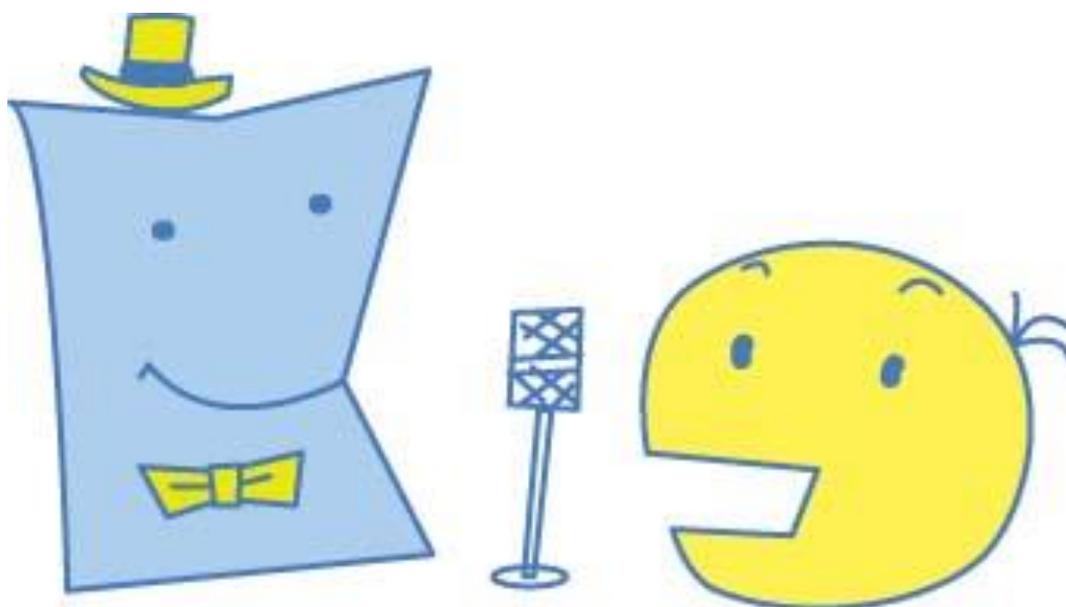
どうもー。

Cちゃんでーす。²



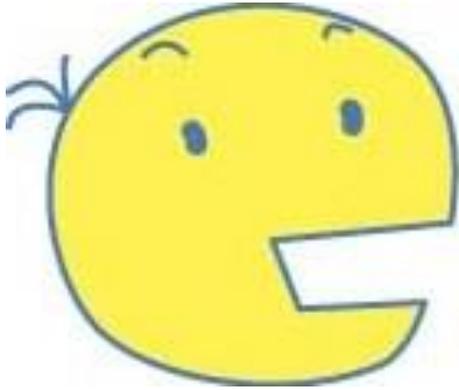
² こんにちは。
Cちゃんでーす。

ふたりあわせて KC で一す。³



³ ふたりあわせて KC で一す。

C: なあなあ、Kくんはなんでそんな^{かたち}形なん？⁴



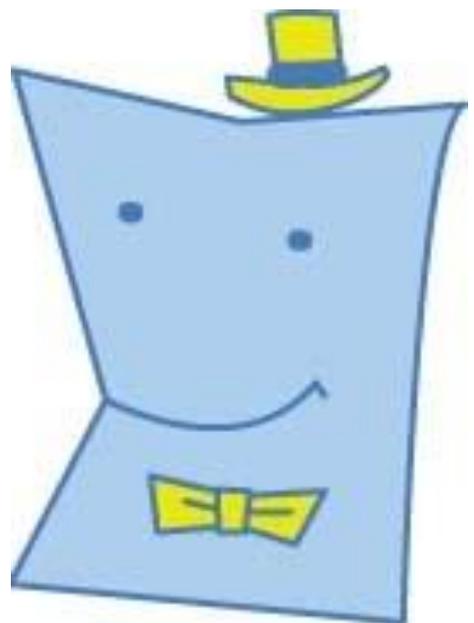
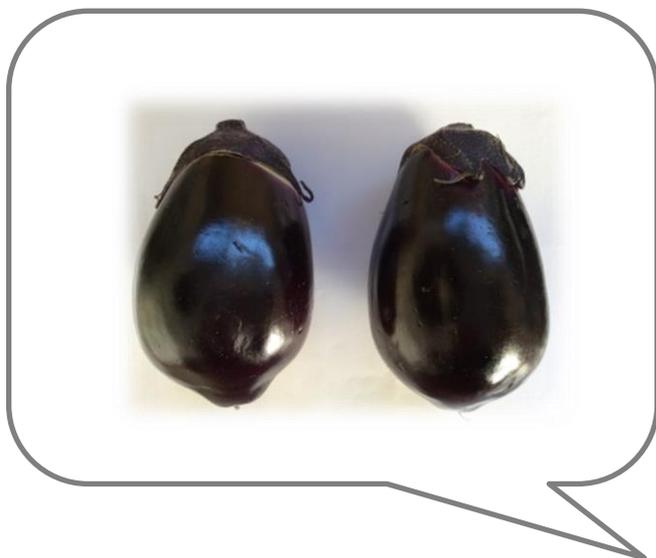
⁴ ねえねえ、Kくんはどうしてそんな^{かたち}形なのですか？

K: これはな、^{かんさい}関西センター「Kansai」のKやねん。

それに、この^{かたち}形わからへん？

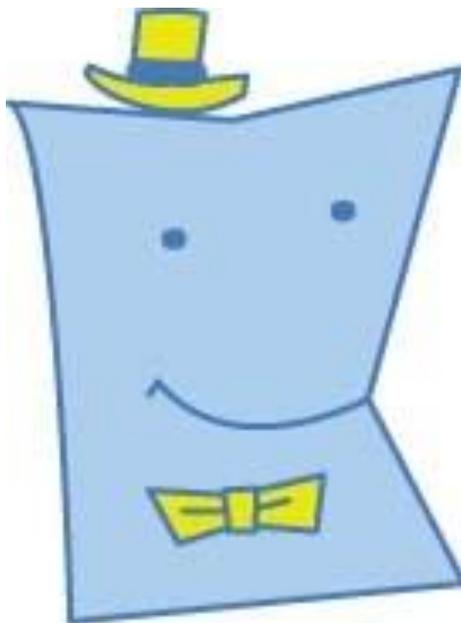
^{せんしゅう}泉州の^{みず}水ナスは^{ゆうめい}有名やで。

^{ふつう}普通のナスより^{すいぶん}水分が^{おお}多くて、^{やわ}柔らかいねん。⁵



^{かんさい}
⁵ これはね、関西センター「Kansai」のKですよ。それに、
^{かたち}この形がわかりませんか？ ^{せんしゅう}泉州の^{みず}水ナスは^{ゆうめい}有名ですよ。
^{ふつう}普通のナスより^{すいぶん}水分が^{おお}多くて、^{やわ}柔らかいんです。

K: そういうCちゃんは、なんでそんな形かたちなん？⁶



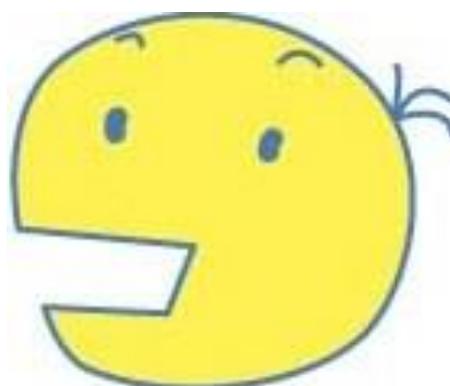
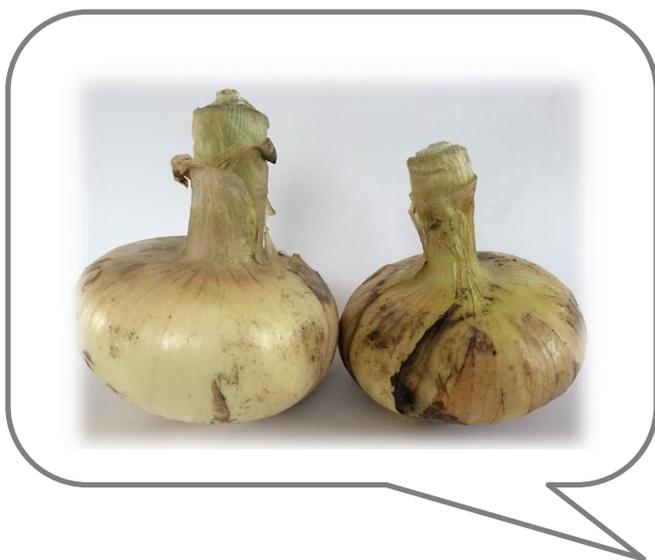
⁶ そういうCちゃんは、どうしてそんな形かたちなのですか？

C: これか？これはな、^{かんさい}関西センター「Center」の
Cやねん。

ほんで、この^{かたち}形わからへん？^{せんしゅう}泉州たまねぎやん！

^{せんしゅう}泉州たまねぎは^{ふつう}普通のたまねぎより^{やわ}柔らかくて、

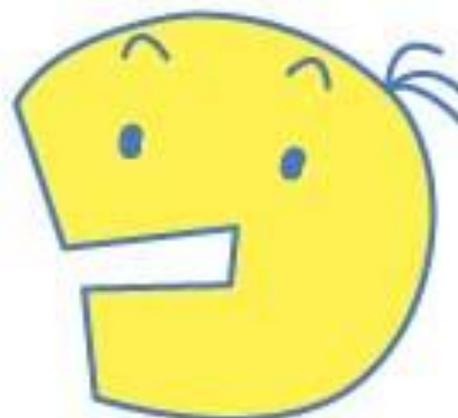
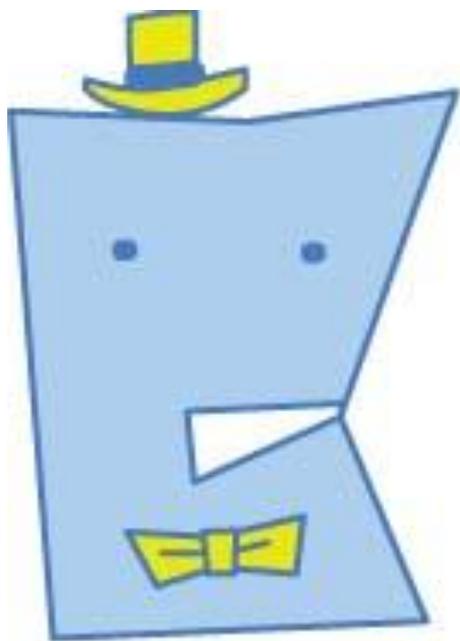
^{あも}甘うて、^{ゆうめい}有名やねん。⁷



^{かんさい}これは関西センター「Center」の「C」です
^{かたち}よ。それで、この形がわかりませんか？^{せんしゅう}泉州たまねぎで
^{ふつう}すよ！普通のたまねぎより^{やわ}柔らかくて、^{あま}甘いし、^{ゆうめい}有名です。

K: ぼくら^{ふたり}2人とも大阪の泉州野菜^{おおさか せんしゅうやさい}やったんか。⁸

C: 長年^{ながねん}一緒^{いっしょ}におるけど、全然^{ぜんぜん}気^きいつかんかったわ。⁹

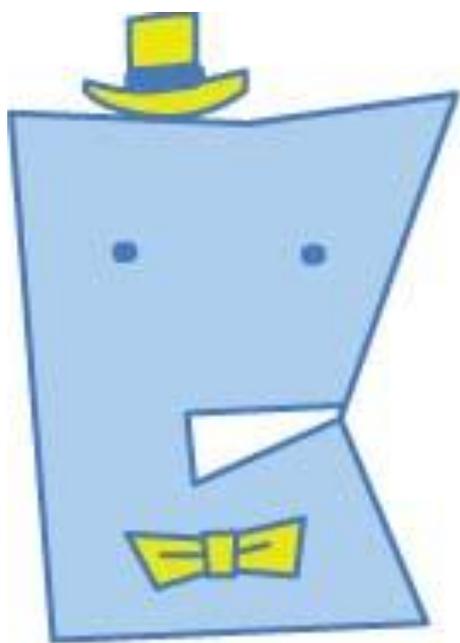


^{わたし} 私^{ふたり}たちは2人とも大阪の泉州野菜^{おおさか せんしゅうやさい}だったんですね。⁸

^{なが} 長い間^{あいだ}一緒^{いっしょ}にいますけど、全然^{ぜんぜん}気^きが付きませんでした。⁹

K: わからんもんやなあ。¹⁰

C: ほんまやなあ。¹¹



¹⁰ わからないものですねえ。

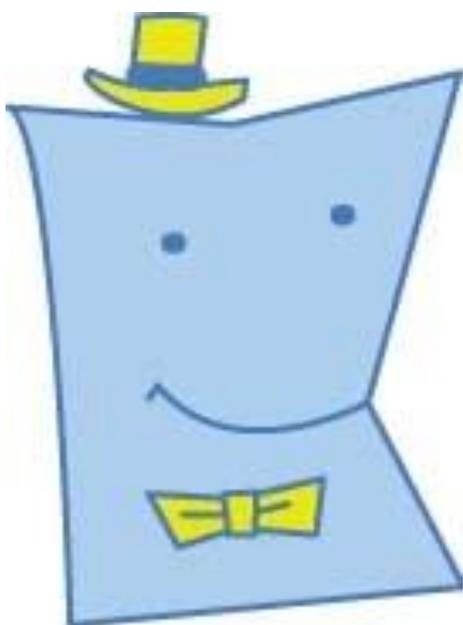
¹¹ ほんとう 本当ですねえ。

みず え ど じ だ い せ ん し ゅ う つ く
K: 水ナスは江戸時代から泉州で作られてるんや。

が っ が っ や さ い
4月から9月くらいにとれる野菜なんやで。

と く み ず あ さ づ つ け も ん ゆ う め い
特に、水ナスの浅漬けという漬物がうまくて有名

なんや。¹²



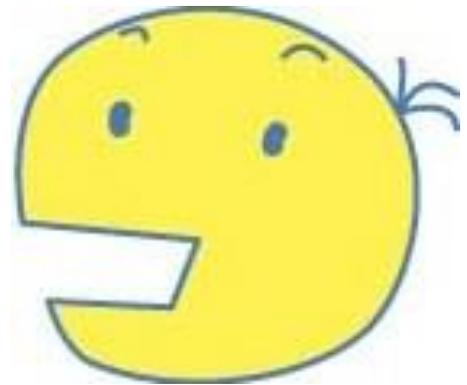
み ず え ど じ だ い せ ん し ゅ う ち い き つ く
12 水ナスは江戸時代から泉州地域で作られています。

が っ が っ や さ い
4月から9月くらいにとれる野菜です。

と く み ず あ さ づ つ け も の ゆ う め い
特に、水ナスの浅漬けという漬物がおいしくて有名です。

C: へえ、うまそうやな。

ごはん^{いっしょ}と一緒に^た食べたいわ。¹³



¹³ へえ、おいしそうですね。

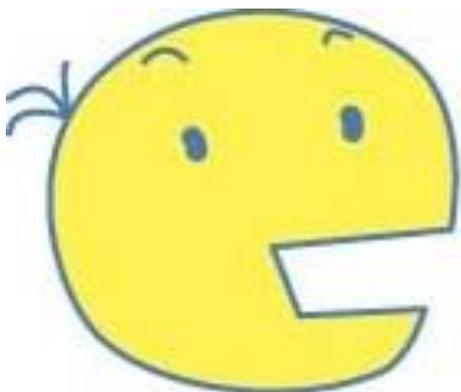
ごはん^{いっしょ}と一緒に^た食べたいです。

C: 泉州たまねぎは明治時代から作られてるんや。

「日本のたまねぎ栽培の発祥の地」て言われる

くらい泉州は有名やねんで。

5月頃が一番うまい野菜なんや。¹⁴



¹⁴ 泉州たまねぎは明治時代から作られています。

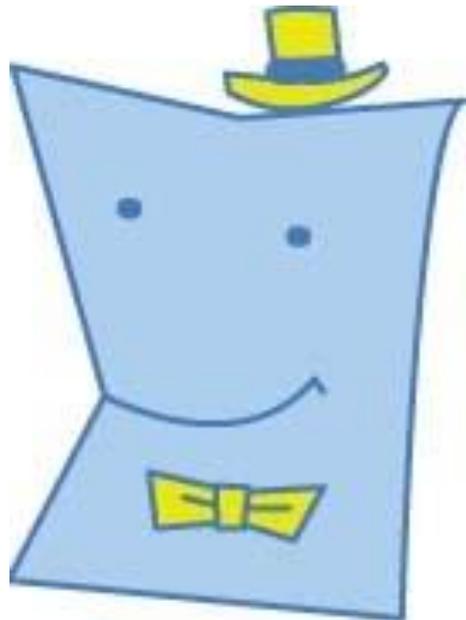
「日本のたまねぎ作りの最初の場所」だと言われるくらい

泉州は有名なんですよ。

5月くらいが一番おいしい野菜です。

K: へえ。

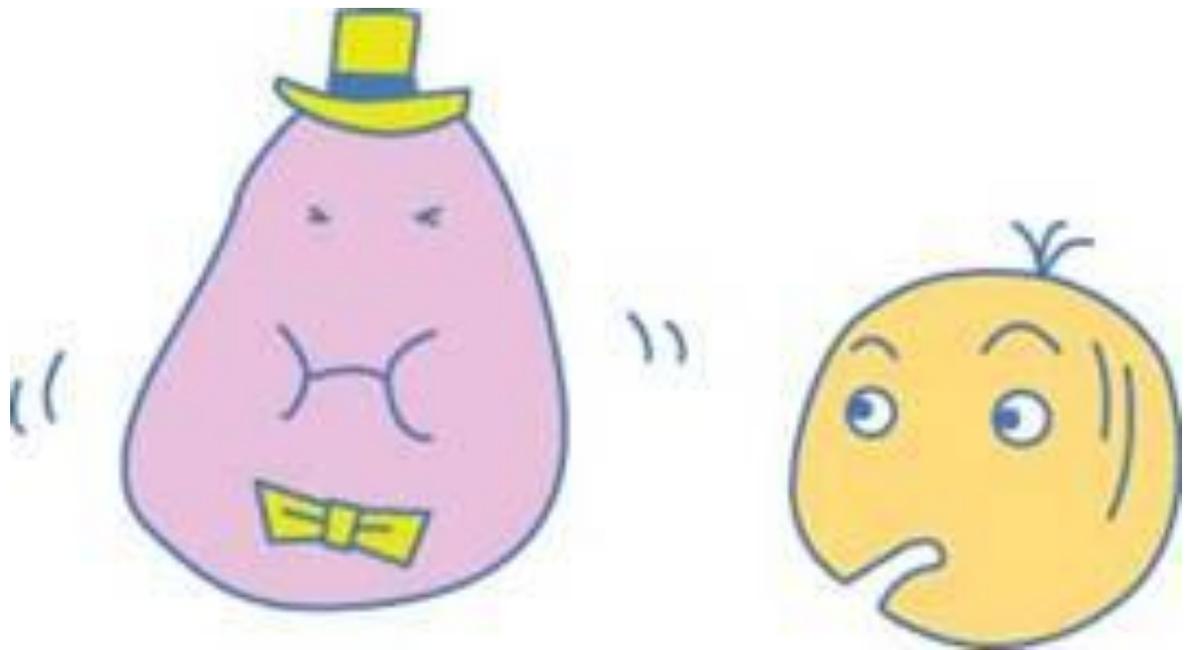
せんしゅう泉州のたまねぎがゆうめいそんなに有名やなんて、
いっしこも知らんかったわ。¹⁵



¹⁵ へえ。

せんしゅう泉州のたまねぎがそんなにゆうめい有名だなんて、ぜんぜんし全然知りませんでした。

K: ぼくらの^す住んでる^{かんさい}関西センターは、^{おおさか}大阪の^{せんしゅう}泉州
^{ちいき}地域にあるやん。^{ほか}他にもうまいもんがぎょうさん
あんねん。せやから、^{ふと}太ってしゃあないわ。¹⁶



^{わたし}私^すたちの^{かんさい}住んでいる^{かんさい}関西センターは、^{おおさか}大阪の^{せんしゅう}泉州とい
^{ちいき}う地域にありますよね。
^{ほか}他にもおいしいものがたくさんあります。
ですから、^{ふと}太ってしまった^{こま}って困りますね。

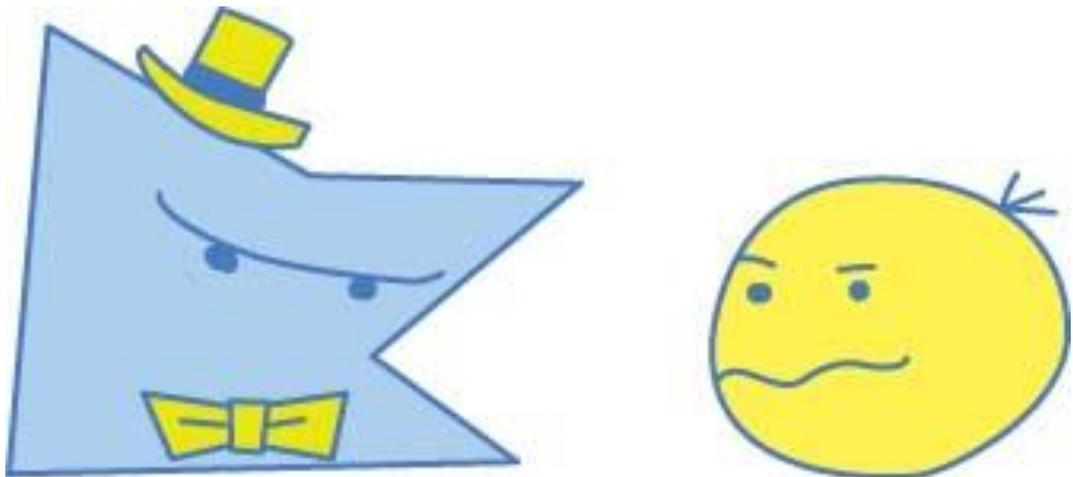
C: ま、そらしゃあないな。¹⁷

K: うん、しゃあないわ。¹⁸

K: ま、^{しあわ}幸^{ぶと}せ太^{ことば}りち^{ことば}ゅう言^{ことば}葉もあるし、ええかな。¹⁹

C: Kくん、^{しあわ}幸^{しあわ}せや^{はつみみ}ったんか？初^{はつみみ}耳やわ。²⁰

K: うっさいわ。これから^{しあわ}幸^{しあわ}せになるんや。²¹



¹⁷ まあ、それは仕方しかたがないですね。

¹⁸ はい、仕方しかたがありません。

¹⁹ まあ 幸^{しあわ}せ太^{ぶと}りという言^{ことば}葉もありますし、いいと思います。

²⁰ Kくんは幸^{しあわ}せだっただんですか？初^{はつみみ}耳です。

²¹ うるさいなあ。これから^{しあわ}幸^{しあわ}せになりますよ。

K: ほな、ぼちぼち^{かえ}帰ろか。²²

C: せやな。みなさん、さいなら。²³



²² じゃあ、そろそろ^{かえ}帰りましょうか。

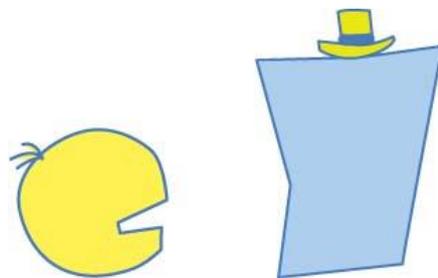
²³ そうですね。みなさん、さようなら。

K: ぼくら^{きょう}今日なに^きに^き来たん？²⁴

C: なんや^し知らんけど、ぼくらの^{じゅぎょう}話が^{つか}授業で使われるらしいで。²⁵

K: ぼくら^でが出んねんから、めっちゃおもしろい^{じゅぎょう}授業なんやろうなあ。²⁶

C: 後^{あと}で^{かね}お金が^{つり}つりもらわんとな。²⁷



²⁴ わたし^{きょう}私たちは今日何を^しに^き来たんでしょうか？

²⁵ よく^し知りませんが、^{わたし}私たちの^{はなし}話を^{じゅぎょう}授業で^{つか}使うらしいですよ。

²⁶ わたし^で私たちが^{じゅぎょう}出るんですから、とてもおもしろい^{じゅぎょう}授業なんでしょうねえ。

²⁷ ^{あと}後で^{かね}お金を^{つり}しっかりもらわないといけませんね。

KC よむよむ No.10

泉州野菜

2016年4月26日発行

国際交流基金関西国際センター

監修: KC よむよむ製作委員会

大阪弁監修: KC よむよむ製作委員会

文・写真: 畠中朋子

参考文献:

田尻町 特産品

<http://www.town.tajiri.osaka.jp/kanko/tokusanhin/>

(2016年4月26日アクセス)

JA 大阪中央会 大阪の農業

<http://www.jaosaka.or.jp/agri/>

(2016年4月26日アクセス)